

NEWS GOPE

インターネット・ニュースの見方

eye 1

インターネットは誰が統治すべきか

ドメイン名問題の本質

ドメイン名に関する議論が巻き起こっている。一般的には新たにgTLDが決まり、より自由なドメイン名が取れるという程度にしか捉えられていないが、実はインターネットそのものの本質にも迫る深い問題である。ここでは性急に結論を出すのではなく、現状の問題を簡単に整理しておくことにしよう。

本誌編集長：中島由弘

問題になっているドメイン名は一般トップレベルドメイン（Generic Top Level Domain；gTLD）といわれるもので、具体的には「.com」「.org」「.net」である。このトップレベルドメインには国の識別がなく、どの国でも取得できる。これに対して「.jp」のように国の識別を表すものをナショナルトップレベルドメイン（National Top Level Domain；nTLD）と呼んでいる。

このgTLDは国際的に使われ、商標登録との運動がないことから国際間での商標権侵害の紛争を起こす火種となっている。しかもgTLDの管理業務はIANAというドメイン名管理組織の委託を受けて米国NSI社という一企業が独占した状態にあること、そしてNSI社は利用者から料金を徴収していることなどから、潜在的に不満もあり、米国の反トラスト法違反（日本でいう独占禁止法に相当する）の疑いがかげられるほどの批判も出ている。

98年9月にはIANAからNSIへの業務委託期限が満了することを受けて、こうした問題を解決すべくインターネット社会ではこれまで15か月にわたって議論をしてきた。そしてドメイン名の管理業務に競争原理を取り入れた案と新たなgTLDを創設することになった。そこに98年1月30日、米国政府もドメイン名の新たな管理形態の提案、いわゆる「グリーンペーパー」を発表して問題が複雑化した。

米国政府にとってみればインターネットは歴史的にもARPA（Advanced Research Projects Agency；高等研究計画局）、NSF（National Science Foundation；全米科学財団）という機関を通じて米国予算によって育ててきたという自負があり、情報ネットワークを重要な政策としているクリントン政権にとってドメイン名の管理組織は米国の傘の下に置いておきたい考えであるともいわれている。（詳しくは、本誌「USA

Front Line～米国インターネット最前線レポート」を参照）。

一方、インターネットの社会では通信をするためのプロトコルやそのパラメーターの決定を始め、ドメイン名やIPアドレスなどの限りある資源について、国に縛られないオープンな場で議論したり管理したりという「自律統治」をしてきた経緯がある。これは世界という規模で動かなければならないインターネットというコンピューターネットワークのコンセンサスを作るためには最善の方法だったのだ。このような経緯からインターネット社会では一国の政府がその国内法の下で管理をするような形態は承服しがたいとして反論をしている。しかも、米国政府案はそれまでにインターネットの社会において議論してきた結果をなんのコメントもなくそっくり「真似」しているだけだという指摘もある。

インターネットの社会には国境がなく、1つの国によって管理されるものでもないとする「自律統治」の原則と米国政府の政策の間での綱引きが行われているというのが現在の状況である。この問題は単なるドメイン名の名前空間の拡張という話題だけではなく、今後のインターネットの動きそのものを左右する象徴的な問題になっているといえるだろう。本誌としても今後の動向については注視していきたい。

eye 2

猥褻画像問題に新たな規制が

風営法改正とインターネット

猥褻画像の流通 インターネットでは長く指摘されてきた問題にまた新たな規制が加わった。風俗営業適正化法の改正である。これまでもホームページに猥褻画像を置いたり、モザイクを消すソフトウェアが摘発されてきたが、今回の法改正によって、猥褻画像を販売する業者にも法の網がかかることになった。

編集部

風俗営業適正化法（以下、風営法）の改正が閣議決定され、無店舗の風俗営業業者も公安委員会への営業の届け出が必要になり、また18歳未満の未成年者を客とすることも禁止された。

この「無店舗の風俗営業業者」とは主にインターネットを使った猥褻な画像を販売する業者を指している。今回の法改正はインターネットで流通するすべての猥褻な画像を規制しようというのではなく、あくまで業者に法の網をかけることが目的だ。そして接続業者であるプロバイダーがこうした業者を発見した場合には、警告や削除要求をする

ような「努力目標」が提示されている。猥褻にまつわる議論には賛否両論があるが、一般的な反対意見としては表現の自由の侵害ということだろう。これはインターネットだけの話題ではなく、既存の出版においても何が猥褻かということは永きにわたり議論されてきた問題だ。表現の自由を主張するなら、インターネットの問題だけではなく、今後も議論を続けなければならないことだろう。

今回、もっとも問題なのは、プロバイダーにも猥褻かどうかの判断をあいまいなまま委ねるところだろう。そもそも猥褻とは何かという価値観は人によって異なるのに

プロバイダーという民間の企業、しかも出版社とは異なり企画の内容に意図を持たない「接続をサービスする企業」に指導させるということだ。

また、この手の話題には必ず「海外でのサーバー運用」という抜け道があり、いくら日本の国内法で縛っても、それを逃れるために海外にサイトが移動するだけではないかという指摘もある。

インターネットにも既存の社会における規範が当てはめられてきたということは明らかである。いままで社会的な規範が当てはめられず、「何でもあり」だったインターネットにも既存の社会と同じような行動規範が求められるということでネガティブにも捉えられるが、一方ではインターネットも社会と同じような価値観で考えられるくらい一般化した証拠でもあろう。

今後は「通信ごっこ」から社会のインフラストラクチャーとしてのインターネットへ脱皮する際の一過程として捉え、健康的な議論を積み重ねていく必要もあるだろう。

eye 3

外資系巨大キャリア進出で通信サービス競争激化

米国ワールドコム社が日本上陸

米国の有力インターネットサービスプロバイダーUUNETや通信事業者のMCI買収などで話題を作ったワールドコム社がついに日本での電気通信事業に参入をした。

編集部

ワールドコム・ジャパン社の第1種電気通信事業者の認可はWTO基本電気通信条約への合意に基づき、郵政省が日本の第1種通信事業者に対して行ってきた33パーセントの外資系企業規制を撤廃するという発表を受けて行われたもので、日本では初めての外資系企業第1種電気通信事業者となる。

ワールドコム・ジャパン社はすでに特別2種電気通信事業者として、音声とデータの付加価値国際通信サービスを展開している

が、今回の第1種電気通信事業が認可されたことで、自前で通信網を敷設することができるようになる。

具体的には年内には東京都内のビジネス街である千代田区を中心に光ファイバーケーブルを敷設し、通信サービスを開始することを予定している。

米国ワールドコム社は米国内においても自

前の通信網によって、市内、長距離、国際電話やインターネットサービスを統合的に提供している。米国の有力インターネットサービスプロバイダーのUUNET社、そして英国プリティッシュテレコム社との合併を発表していた通信事業者のMCI社をつぎつぎと買収してきた。

ついに日本にも米国資本の巨大キャリアが進出することで国際競争が激化し、NTTを始めとするナショナルコモンキャリアはもちろん、インターネットサービスプロバイダーにも多大な影響を与えることが予測される。

インターネットでの教育のあり方を模索する WIDE 大学 スクール・オブ・インターネット

WIDE プロジェクトが「WIDE 大学 スクール・オブ・インターネット」という試みを行っている。これは、単にインターネットで授業を中継するだけでなく、インターネットを使った新しい高等教育の環境を模索するという目標を持って展開している。98年4月の春学期開講を前に、スクール・オブ・インターネットとはどんなプロジェクトなのかを紹介しよう。

編集部



慶應義塾大学環境情報学部 村井純教授

Photo: Hiroji Kazuo

「インターネット」を学ぶために

「インターネットを総合的に学ぶ」ということは、実はとても大変なことだ。情報処理やネットワーク理論はもちろん、クレジットカードの仕組みなど経済学も知らなければECを語ることはできない。

しかし現実には、1つの大学で情報工学と経済学を同時に学ぶことは難しく、これらを総括して教えられる人材もいない。そこで、それぞれの分野を得意とする「先生」がネットワークを介して授業を行ったらどうかというアイデアから始められたのが「WIDE 大学 スクール・オブ・インターネット」(以下、SOI)なのだ。

WIDE プロジェクトでは97年の秋から、慶應義塾大学湘南藤沢校舎(SFC)で行っている3つの授業をインターネットで公開(<http://www.sfc.wide.ad.jp/soi/>)し、学生は課題をウェブで提出するという実験を開始した。

ウェブ上では、授業の映像をリアルビデオで配信するだけでなく、板書もHTMLにして掲載している。リアルプレイヤーのシンクロナイズドマルチメディア機能を使用して、ビデオの進行に合わせて板書も進むようにしてあるので、実際の授業に近い感覚で受講できるのが特徴だ。

このSOIの授業は、履修登録をすれば学外の人も参加して課題レポートなどを提出することができる。実際に「学生時代に勉強し残ってしまった授業を受けられる」、「さらにインターネットへの理解を深めたい」

という学外者の参加も多い。

将来的には「インターネットをインターネットで学ぶ大学」、「いつでもどこでも学べる大学」、「誰でもが学生になれ、世界中の先生による授業が受けられる大学」を構築するのが目標だ。

見えてきたさまざまな問題点

SOIプロジェクトを進めている慶應義塾大学の村井純教授によると、「このSOIプロジェクトを通して、既存の教育システムの問題点が見えてきた」という。

「SFCの授業をとっている学生ならば単位の対象となるが、学外の人にとっては学んだことを証明するものがない。今後は文部省の枠を越えた高等教育のあり方を真剣に考えていくべきだと思う」と村井教授は話す。SOIプロジェクトでは、授業を修了したすべての人に対して独自の修了証書を出す計画がある。将来的にはこの証書が現在の学校制度の「学士」「修士」に匹敵するような資格になりうるかもしれない。

しかし問題もある。教科書をネットワー



リアルビデオで授業の模様を放送

クで利用する場合の著作権は解決が難しい問題だ。これに関して村井教授は「通常、教育目的で出版物などを参照する場合は著作権を問わないことが多い。しかし、スキャンした画像などをネットワーク経由で教科書として見せた場合には、また別な解釈があるだろう。将来的にはなんらかのルールが必要だ」と話す。

実験協力者としての生徒を募集

SOIプロジェクトでは4月に春学期を開講するが、今回は慶應をはじめ私立・国立を含む5大学(予定)の授業を配信する。授業には無料で参加できるが、将来的な大学モデルを探るため、課金の基となるユーザーデータの取得なども始める予定だ。

SOIプロジェクトの大川恵子さんは「SOIはまだ目指すところには遠く、サービス提供というレベルではありません。可能性を探るための実験ですから、ぜひ多くの方に実験に参加していただき、新しい大学モデルの構築にご協力いただきたいと思います」と話してくれた。



板書はHTML化されて、ビデオと同時に進行する

サン・マイクロシステムズ ラボラトリーズ ジョン・B・ゲイジ氏が語る 分散コンピューティングを実現する JavaSpaces

98年3月の「JavaOne」では、家電などへの組み込みが本格的に発表される見込みのJava。3月に来日したサン・マイクロシステムズ ラボラトリーズのチーフサイエンティストであるジョン・B・ゲイジ氏に、Javaと分散コンピューティングの将来について聞いた。

編集部

Javaは家電などへの 組み込みに移行

ゲイジ：98年3月下旬にサンフランシスコでディベロッパーカンファレンス「Java One」が開催されます。この会議には約2万人が集まる予定ですが、この参加者全員にJavaチップを内蔵した指輪「Javaリング」を配布する予定です。このリングで端末に触れると、プログラムが実行されるという仕組みになっています。

これまではチップを内蔵した「Javaカード」が主流でしたが、指輪のような小さなものにも電池とメモリー、10種類のプログラムを搭載できるところまできました。

これまでJavaはパーソナルコンピュータや企業向けシステムなどを中心とするハイエンド向けの開発が先行していましたが、今後はこうした家電への組み込みシステムなど、ローエンドでの開発が進むでしょう。

分散コンピューティング環境

JavaSpaces

ゲイジ：サンでは、分散コンピューティングのモデル「JavaSpaces」のプロジェクトを進めています。これはJavaを使ってネットワーク上の大量のデータを高速に処理するもので、コンピュータ業界の数十年来の夢だった「ユビキタスコンピューティング」を実現するものと言えるでしょう。基になったのはエール大学のデビッド・グレンタ氏らが開発を進めていた「Linda」プロジェクトです。

1つの共有されているメモリースペースにデータがあって、そのデータの概要が記述されているとします。このスペースに「ある情報が欲しい」という要求を出すと、メモリー上のどのデータがマッチングするかを演算します。「要求する側」と「提供する側」のデータを共有することで、分散コンピューティングを行えるわけです。「JavaSpaces」はネットワークゲームなどでも使うことができますし、Yahoo!のような大規模なネットワーク上の検索サービスにおいても有効な技術だと考えています。

もしこれが実現すれば、ユーザーがディレクトリーやファイル名などを意識しなくても演算を行うことができます。ですから、UNIXもウィンドウズNTも、さらにはJavaパーチャルマシンさえも必要なくなるかもしれません。

ネットワークの広がり

ゲイジ：コロラド州のあるタクシードライバーが、「究極のタクシー（Ultimate Taxi）」というサイト（<http://www.ultimatetaxi.com/>）を開いています。彼の車にはパソコンはもちろん、デジタルビデオカメラや500Kbpsで接続できる無線インターネットのシステムが積み込まれています。ですから、ウェブを見た人が乗車予約をメールで入れることもできますし、乗客の映像をカメラで撮ってすぐにウェブに載せるなどということもやっているのです。

また米国内では、運送会社のトラックに

インターネット接続用のアンテナと端末を搭載して、現在地やトラブルの報告に利用しているというケースもあります。

これらの例を見てもわかるように、ワイヤレスのインターネット接続と自動車という組み合わせは無限の可能性を持っていると思います。今後、広帯域幅のワイヤレスシステムが普及すれば、Javaやそのほかの情報システムと組み合わせられて新しいビジネスが生まれてくると思います。

現在もカーナビというものがありますが、今後多くの自動車メーカーが次世代のJava端末を車に搭載していくのではないのでしょうか。これが実現すると、車はインターネットへの新しい「アクセスポイント」となり、ECへの入り口にもなると思います。

Javaのビジネスモデル

ゲイジ：現在、サンはJavaからはあまり利益を上げていません。プログラミング言語だけでビジネスを成り立たせるというのは、非常に難しいことです。

Javaで収益を上げるためにはサンがよい開発環境を提供し、プログラマーがそれを使ってアプリケーションを作るというビジネスモデルを確立しなければなりません。そして、マイクロソフトの「Visual J++」やメトロワークスの「CodeWarrior」などとの競争にも勝たなければなりません。

こうした市場は大きいものではありませんが、Javaそのものの発展のためにも投資を続けていく必要があると考えています。



サン・マイクロシステムズ ラボラトリーズ
ジョン・B・ゲイジ氏
Photo: Yamamoto Naka

ネットワークが障害者の可能性を広げる パソコンボランティアカンファレンス'98

パラリンピック関連事業の1つとして、3月6、7日に長野メルパルクホールで開催された「パソコンボランティアカンファレンス'98」。このイベントは、障害者のパソコン活用をサポートする「パソコン・ボランティア」と障害者が集い、障害者のパソコンやインターネット利用について話し合うものだ。今年は約300名の参加者を集め、講演やリレートーク、企業展示など、多彩な内容で行われた。

編集部

障害者に配慮した会場作り

「パソコンボランティアとネットワークの挑戦」をテーマに行われた今回は、障害者が情報アクセスの権利を得るために、パソコンやインターネットをどのように導入・活用するべきかという趣旨で、さまざまな展示や講演が行われた。

会場は半分を展示用ブース、もう半分を講演会場として使用。講演では、台上のプロジェクターに発言内容を表示すると同時に手話でも表現し、また会場内は通路が広くとられ、車椅子を使用している人も通行しやすくなっているなど、会場作りからして障害者の参加を配慮したものになっていた。

展示では、パソコンメーカーや、障害者やボランティアによる草の根BBSが参加。企業側からは、障害を持つ人の補助装置となる入力機器やソフトが展示され、IBMのホームページリーダーや点字キーボード、日立の「伝の心」などの音声による意思伝

達装置、わずかな動きだけでキーボードやマウス代わりに使える入力機器など、それぞれの障害の特性に合わせた製品が展示されていた。

草の根BBSでは、筋ジストロフィーの患者を中心に作られた「夢の扉」や、障害者と援助者へのパソコン通信講習会を行う「ネットワーク杉並こと」、486マシンをサーバーにしてBBSをインターネットにつなぐ運動を行う「みんなのねがいWEB」などが展示し、障害者のパソコン・インターネットの導入や使い方の相談などを行っていた。

ネットワークが障害をなくす

講演では、各地のパソコンボランティアの活動報告や、障害者からの発表などが行われた。講演者の1人、筑波大付属盲学校教諭の高村明良さんは、「視覚障害者が（音声装置付き、あるいはピンディスプレイなどの）パソコンを使うことで、活字の読み書きができるようになり、これまで誰か

に読んでもらう、または点字に翻訳してもらうことでしか情報を得られなかった彼らが、直接情報にアクセスできるようになった」と発言し、視覚障害者にとってのパソコンやネットワークの重要性を述べた。また、ウェブサイトでデザインや視覚的效果が重視される風潮にある現在、視覚障害者からのアクセスが難しくなっていることを指摘し、ウェブサイト作成側が障害者を考慮してほしいと訴えた。

また、障害者の雇用についてのトークも行われ、TBSの障害者によるメールを利用した在宅テレビモニターについての対談が注目を集めた。リーダーを務める吉川誠一さんは、「パソコン講習などは受けたが、それだけで就職できるわけではない。働きたい希望を持つ障害者のグループを作り、企業などに積極的に働きかけていった」と、雇用の厳しさを述べた。障害者とTBSの間を取り持ったコーディネーターの堀込真理子さんは、「企業と障害者のそれぞれの意見を聞いて、お互いに納得できる状態で仕事をしてもらうことを目指した。今後、こういった形で、企業と障害者を仲介する機会は増えてくると思う」とネットワークを通じた障害者の勤務形態の可能性を語った。

会議を主催した日本障害者協議会は、「情報アクセスは新しい基本的人権」という理念のもと、今後、パソコンが障害者の日常生活用具に認められること、パソコンボランティアおよびバ・エンジニア（コンピュータ技術と障害の両方のわかる専門家）の活動への公的支援を目指して活動していくという。



車椅子の人も熱心にデモに参加



入力補助装置の数々。押すだけ、さわるだけで操作できる

PSVC'98

URL <http://www.people.or.jp/~kinbe/psvc98.html>

日本障害者協議会

URL <http://www.vcom.or.jp/project/jd/index-ja.html>

米国 PSINet 副社長が語る PSINet の対日本戦略

2月25日、PSINet社は前任者の伊藤穰一氏に替えてピンセント・ギベス氏を日本法人代表取締役に選出した。米国バージニア州に本社を置き、日本、カナダ、ヨーロッパ各国に子会社を持つPSINet社の次のターゲットは「アジア」だという。さらに、98年は米国の最新サービスを日本にも輸入すること。この3月、プロモーションのために来日した同社副社長ハロルド・ウィルス氏に今後の戦略を聞いた。

編集部



米国 PSINet 社副社長の
ハロルド・ウィルス氏

Q：新しい代表取締役就任にあたって、今後の日本での戦略はどのようになるでしょうか。

ウィルス：PSINet JAPANは今まさに子供から「成人」の段階に入ったといっているでしょう。98年にPSINet社が目指すのは、よりグローバルな展開です。世界中どこに行ってもPSINetのアクセスポイントがあることが重要だと考えています。これは現在、米国、カナダ、ヨーロッパの各国で実現していますが、今年の後半から来年の初頭にかけてアジアやパシフィックへの進出を予定しています。具体的な国名は発表できる段階ではありませんが、2、3か月後には正式なアナウンスがあるでしょう。

さらに、当社のアクセスポイントがない地域への対応策として「iPASS」(本誌特集233ページ参照)への参加を予定しています。日本でも、4月までにはiPASSの提供するアクセスポイントを使えるようになるはずですが。



Q：日本において、アクセスポイントの多さという点で圧倒的に有利なNTTの「OCNダイアルアップ」にはどのように対抗しますか。

ウィルス：NTTの参入は、インターネット市場を活性化する意味で大いに歓迎すべきでしょう。PSINet社としては、OCNの登場によってマーケティングが簡単になると考えています。つまり、ユーザーはインターネットを始めるにあたって「OCNか

PSINetか」という選択を迫られます。これは、「接続だけ」を提供するプロバイダーと「さまざまなサービス」を提供するプロバイダーのどちらを取るかという選択でもあり、この時点で勝ちが決まっているのではないのでしょうか。もちろん、PSINetには今以上に知名度を高める必要があります。

英国でも同じ問題がありました。結果として、多くのユーザーがプリティッシュテレコムよりもPSINet社を選択しています。



Q：「安くて、速くて、混んでいない」が当たり前になった日本でのどのような特色を出していきますか。

ウィルス：ビジネス・トゥー・ビジネスの分野での利用を前提に、インターネットFAXやインターネット電話のサービスを予定しています。米国では昨年からですすでにサービスを開始していますが、企業を中心に多くの支持を得ています。



Q：米国ではすでに提供されていて、日本ではまだ行われていないサービスはほかにもありますか。

ウィルス：まず、昨年12月に米国で始まったビデオ放送サービスがあります。ストリーミングコンテンツの配信に関しては、再生用のアプリケーションが話題になることが多いのですが、実際の運用には「支払い」のためのアプリケーションのほうが重要なのです。PSINet社では、「ワンペイ」という課金システムと放送システムを組み合わせ

て「ベイ・パー・ビュー」のサービスを提供しています。さらに、ストリーミングコンテンツの配信には「品質の保証」が大きなテーマとなります。同じ金額を払っているのに、ユーザーごとに届くコンテンツの質が違うのは問題です。そこで、PSINet社では1つの配信サーバーにアクセスを集中させないように、各アクセスポイントにコンテンツを分散する方法をとっています。これによって、PSINetの顧客には、高品質のビデオコンテンツを提供できるわけです。

もう1つは、100パーセント落ちないことを保証したWWWサーバーのホスティングサービスです。多くの企業がウェブアプリケーションを使ったサイトを提供し始めたことで、このようなサービスのニーズが高まっています。日本でも4月中には利用可能になるでしょう。



Q：ありがとうございました。



PSINet日本法人代表取締役ピンセント・ギベス氏

Product LANに対応し、PCとのデータ同期機能が強化された ウィンドウズCE 2.0 日本語版をマイクロソフトが発表

マイクロソフトは3月11日、東京都内で「Handheld PC powerd by Microsoft WindowsCE Version2.0 日本語版」を発表。席上、成毛真社長が今後1年間におけるウィンドウズ98/NT5.0のリリースに向け「ウィンドウズイヤーの元旦」を宣言した。また同日、日立、NEC、日本ヒューレット・パカード(日本HP)の3社がウィンドウズCE 2.0 日本語版を搭載したハンドヘルドPCを発表した。

ウィンドウズCEは、ハンドヘルドPCをはじめ、PDA、オートPCなどの情報機器のプラットフォームの総称で、「Handheld PC powerd by Microsoft WindowsCE Version2.0 日本語版」(以下、H/PCウィンドウズCE 2.0)は、ウィンドウズCE 2.0のハンドヘルドPC版ということになる。

H/PCウィンドウズCE 2.0は640×240ドットのカラーディスプレイに対応し、イーサネットのLAN接続を実現、付属の各アプリケーションも強化された。「ポケットPower Point」が新たに搭載されたほか、「ポケットInternet Explorer」はSSLをサ

ポートし、「ポケットWord」や「ポケットExcel」にはズームや全画面表示などの機能が加わった。さらに、電子メールはファイルの添付をサポートした。

ウィンドウズPCとの同期機能も大幅に強化された。この同期技術は「ActiveSync

技術」と呼ばれ、ウィンドウズPCと接続している間は、電子メールやOutlookデータなどの情報が、ボタン操作を必要とせずに常に同期される。

今回、H/PCウィンドウズCE 2.0日本語版を搭載したマシンの発売を表明したのは、カシオ計算機、コンパックコンピュータ、NEC、日立製作所、日本HPの5社で、NECの3月20日を皮切りに、各社で製品の販売が開始される。



日立製作所の「PERSONA」は
138,000円、発売は4月20日



NECの「モバイルギア MC-R500」
は120,000円、3月20日に発売



日本HPの「HP 620LX 日本語版」
は価格未定、発売は5月中旬

Product NTT-TE東京 / BUGが ダイヤルアップルーターの 入門機種を低価格で発売

NTT-TE東京 / ビー・ユー・ジーは、ダイヤルアップルーターの新製品「MN128R」を発売する。この商品は入門機種として、初めてルーターを購入する人や、すでにアナログ機能を持つTAを使用している人をターゲットにしたもの。10BASE-Tポートを1つ、S/T端子を2つ、DTEポートを1つ搭載する。なおアナログポートは搭載しない。価格はDSU内蔵モデルが57,800円、DSUなしが47,800円。

問い合わせ MN128インフォメーションセンター
TEL 0120-128037



PIAFSやOCNエコノミーにも対応

Product 富士通が ダイヤルアップルーターの 新製品を3月3日に発売

富士通は、DSU付きダイヤルアップルーター「NetVehicle-fx3」を発売する。10BASE-Tポートを4つ、アナログポートを2つ、S/T端子を2つ搭載した。電話かFAXのみの利用時に約50%の節電が可能になる省電力モードを装備し、PIAFS通信やナンバーディスプレイ、フレックスホンなどにも対応した。価格は68,800円。

問い合わせ 富士通(株)FMインフォメーションセンター
TEL 0120-89-4321



電子メール着信通知機能(「InfoWeb」のみ)も搭載

Product NECが ダイヤルアップルーター 58,800円で発売

NECは、ダイヤルアップルーター「COMSTARZ ROUTER」を発売した。10BASE-Tポートを4つ、アナログポートを2つ、S/T端子を1つ搭載する。また、データ圧縮機能(STAC LZS)で最高512Kbpsの通信ができる。5月には、設定した時刻になると自動でダイヤルアップして到着メールを確認する機能が追加される予定。価格は、DSU内蔵機種は58,800円、DSUなしは51,800円。

問い合わせ NECデータコム・インフォメーション・サービス TEL 0120-498-563



設定はWWWブラウザから行う

Product NTTがDSU内蔵
ダイヤルアップルーターを
68,800円で発売

NTTは、ISDNに加えてOCNエコノミーや高速デジタル専用線に対応するダイヤルアップルーター「IPMATE 1200RD」を3月25日に発売する。DSUを内蔵し、10BASE-Tポートを4つ、アナログポートとS/T端子をそれぞれ2つ搭載した。また、PIAFS通信やアドレス変換機能もサポートし、設定はWWWブラウザから行う。発売は3月下旬予定で価格は68,800円。

URL <http://ced.nttca.com/>

E-mail www-admin@ced-sun.cipl.cae.ntt.co.jp



NTTのダイヤルインやフレックスホンなどにも対応

Product アイワが
56Kモデムの新製品
2機種を発売

アイワは、56Kモデムの新製品2機種を3月1日に発売した。ボックス型の「PV-BW5601」は、表示パネルにイラストを採用して通信状態をわかりやすくした。価格は19,800円。カード型の「PV-JF56E1」は、LEDインジケータを搭載しており、価格は22,800円。両製品とも56Kbpsの通信規格はx2をサポートし、V.90への無償アップグレードを保证する。

問い合わせ アイワ㈱
お客様相談センター
TEL 03-3371-7981



ボックス型の「PV-BW5601」

Product TDKが
携帯電話と公衆回線用
カードモデムを発売

TDKは2月25日に、デジタル携帯電話と一般公衆回線の両方に対応するPCMCIAカードモデム「DVP3314S」を発売した。アナログモデムとして33.6Kbpsのデータ通信と14.4KbpsのFAX通信に対応し、デジタル携帯電話では最高9600bpsでデータ/FAX通信ができる。対応機種はウインドウズ95マシンで、価格は39,800円。

問い合わせ TDK㈱PCカードサポートセンター
TEL 047-378-9406



1枚でデジタル携帯電話とアナログ回線をサポート

Product センチュリー・システムズが
リモートルーターの
新製品を発売

センチュリー・システムズは4月1日に、「FutureNet FA-10」を発売する。この製品は、RS-232Cとイーサネットのインターフェイスを持ち、RS-232C / イーサネット変換機として使うことで、アナログモデムやTAと組み合わせたりリモートアクセスサーバーやリモートルーターとしてコンピュータを利用することができるもの。価格は59,800円。

問い合わせ センチュリー・システムズ㈱
TEL 0422-37-8911



名刺サイズでコンパクトな「FutureNet FA-10」

Product ニコンが
デジタルカメラの
新製品 2機種を発売

ニコンは4月下旬に、デジタルカメラの新製品を発売する。「COOLPIX900」は、SXGA (1280 × 960 ピクセル) の130万画素で、光学10倍ズームを搭載しており、価格は110,000円。一方の「COOLPIX 600」は、XGAの108万画素 (1024 × 768 ピクセル) で、価格は74,000円。両製品ともコンパクトフラッシュカードを採用し、オートフォーカス機能などを搭載した。

問い合わせ ㈱ニコン電子画像機器インフォメーションセンター
TEL 03-3829-3052



130万画素の「COOLPIX900」は110,000円

Product カシオが
赤外線通信対応の
デジタルカメラを発売

カシオ計算機は3月26日に、デジタルカメラの新製品「QV-770」を発売する。赤外線画像通信規格IrTran-Pに対応し、パノラマ画像の撮影もできる。画素数は35万で、1.8型HAST液晶モニターを搭載。さらに、シャッターを切ると約0.1秒間隔で32コマ連写し、約3.2秒の簡易動画として再生することもできる。価格は53,000円。

問い合わせ カシオ計算機㈱お客様相談室
TEL 03-5334-4828



コンピュータでの画像出力VGAの640 × 480ピクセル

Product 日本ビクターが
光学10倍ズーム機能搭載
デジタルカメラを発売

日本ビクターは3月10日に、デジタルカメラ「GC-S1」を発売する。35万画素CCDを搭載し、光学10倍ズーム機能を備えるのが特徴。フラッシュメモリーを4Mバイト内蔵し、外部記録媒体にはコンパクトフラッシュカードを採用した。最短撮影距離は7センチで、オートフォーカスとマニュアルフォーカスの切り替えもできる。価格は79,800円。

問い合わせ 日本ビクター(株)お客様ご相談センター
TEL 03-5684-9311



デジタルカメラ「GC-S1」

Product 松下がメガピクセル
デジタルカメラを
85,000円で発売

松下電器産業と松下寿電子工業は4月20日に、108万画素デジタルカメラ「メガピクセルCOOLSHOT」を発売する。記録媒体にはコンパクトフラッシュカードを採用し、オートフォーカス機能やデジタルズーム(2倍)機能、さらに2インチの低温ポリシリコンTFT液晶モニターを搭載する。価格は85,000円。

問い合わせ パナソニックP3カスタマーサポートセンター
TEL 03-3834-2921



コンパクトフラッシュカード(8Mバイト)を標準添付

Product ソフトフロントが
電子メールソフト
「++Mail 2.0」を発売

ソフトフロントは3月12日に、電子メールソフト「++Mail 2.0」を発売した。従来のメールソフトがフォルダーにメールを分類して管理するのに対し、「++Mail」ではすべての電子メールをデータベースで一括管理するのが特徴。また、回覧メールや稟議書を簡単に送信できるイントラネット機能も搭載。価格は1ライセンス12,800円から。

問い合わせ (株)ソフトフロント
TEL 011-736-8330



データベースでメールを一括管理

Product ザクソンが
秀丸エディター搭載の
電子メールソフトを発売

ザクソンは3月31日に、電子メールソフト「秀丸forネットメール」をシェアウェアとして4,500円で発売する。エディター部に「秀丸エディター」を搭載(シェアウェア登録料は含まれない)しているが、自分の好きなエディターを登録することもできる。ウィンドウズのエクスプローラが画面左下に組み込んであるので、フォルダーにメールをドラッグ&ドロップで保存できる。

問い合わせ ザクソン(株)
TEL 06-945-6793



6月末にはパッケージ(12,800円)も発売

Product トーメンエレクトロニクスが
ストリーミングコンテンツ
作成ソフトを発売

GEO社は、プラグインや専用のサーバーソフトを必要としないストリーミングコンテンツ作成ソフト「EMBLAZE」シリーズを発表した。日本ではトーメンエレクトロニクスが3月中旬に発売する。この製品で作成したコンテンツは、独自圧縮技術によって従来の同様製品よりもファイルサイズが小さくなり、同時にダウンロードされるJavaビューアーで再生される。

問い合わせ (株)トーメンエレクトロニクス
TEL 03-5462-9653

URL <http://www.jp.emblaze.com/>



上記URLで「EMBLAZE」のサンプルを見られる

Product アドビシステムズが
Adobe PageMill 3.0
日本語版を発売

アドビシステムズは、4月上旬にウィンドウズ用のHTMLエディター「Adobe PageMill 3.0」を発売する。3.0では、これまで備えられていなかったサイト管理機能が付けられた。またActiveXコントロールの挿入やドラッグ&ドロップによるJavaアプレットの埋め込みなどの機能も追加された。価格は12,800円で、Adobe PageMill 2.0からのアップグレードは5,000円。

URL <http://www.adobe.co.jp/>



3.0ではサイト管理の機能が加えられた

Product NetObjects 社が
最新のHTML作成ツール
「Fusion 3.0」を発表

NetObjects 社はウェブサイトの構造を管理できるHTML作成ツール「Fusion3.0」の英語版を発表した(日本語版は今春発売の予定)。ダイナミックHTMLやスタイルシートに対応し、ブラウザの機能別にHTMLを生成することもできる。また、ロータス社のドミノなどのデータベースと連携したウェブページを生成する機能も予定されている。

URL <http://www.netobjects.com/>



「Fusion 3.0」(英語版)のページ作成画面

Product PWが
ブックマーク・FTP
支援ソフトを発売

パナソニックワンダーテインメント(PW)は、ウィンドウズ用のブックマーク・FTP支援ソフト「ホームページメーカー」を4,500円で発売した。このソフトは表示したページをイメージでブックマーク化する。そのため目的のページにサムネイルやメモからアクセスすることができる。またFTP時には自動的にアドレスを保存してくれる。

問い合わせ (株)パナソニックワンダーテインメント
TEL 03-3746-1401



サムネイルからホームページにアクセスできる

Commerce マスターカードが
モンデックス・カードで
国際間決済を実現

マスターカードは2月17日、モンデックス・カードを使用した国際間決済を行った。これは、香港上海銀行が発行した香港ドル入りのモンデックス・カードをニューヨークのチェースマンハッタン銀行のATMで米国ドルに変換し、ニューヨークのマクドナルドで支払いを行った。同社では、モンデックスによる国際的な利用の可能なことが証明されたとしている。

URL <http://www.mastercard.com/>



マスターカード社のロバート・シーランダー会長

Company RealNetworks 社が
Vivo Software 社との
合併を発表

米国RealNetworks社は2月23日、Vivo Software社の獲得を発表した。RealNetworks社は「RealAudio」や「RealVideo」などの技術を持つストリーミング技術のリーダー的企業で、今回の合併によりVivoSoftwareが持つ「Vivo Active」ツールなどを取得し、今後は両社の製品間で相補的な関係を築いていくという。

URL <http://www.real.com/>

URL <http://www.jp.real.com/>



RealNetworksのホームページ

Service ダイヤモンド社が
ウェブサイトで
雑誌記事の販売を開始

ダイヤモンド社は3月2日からウェブサイトで週刊ダイヤモンドの記事(バックナンバー含む)の販売を開始した。記事はPDFファイルで供給され、販売価格は1記事100円から。当初はクレジットカード決済のみで、最初に会員登録が必要(無料)となる。今後は他の発行物も順次販売していく。

問い合わせ (株)ダイヤモンド社
FAX 03-3504-6456

URL <http://www.diamond.co.jp/>



最新号からバックナンバーまで記事単位で購入できる

Service 今川証券が
ホームトレードセンターの
株式委託手数料を値下げ

今川証券は、現在ホームトレードセンターで行っている、インターネット、フリーダイヤル、フリーファックスを経由した「今川ホームトレード」における株式委託手数料を、4月以降値下げする。これは、売買代金5,000万円超の株式委託手数料が自由化されたのを受けたもので、1銘柄あたり5,000万円超の委託手数料を一律272,500円にする。

URL <http://www.j-plaza.or.jp/imgawa/>



今川証券のホームページ

Service インプレスが
スポーツの最新情報を
電子メールで提供

インプレスは、スポーツに関する最新情報を電子メールで提供する「SPORTS Watch」を創刊した。時事通信社から記事提供を受けて、世界中のニュースソースから、ワールドカップ情報をはじめ、プロ野球や相撲、競馬など、人気のプロスポーツに関するさまざまな情報を提供する。4月中は無料だが、5月から有料化し、6か月で1,800円の購読料金を予定。

URL <http://www.watch.impress.co.jp/sports/>
URL <http://www.ips.co.jp/> (購読申し込み)



「SPORTS Watch」のホームページ

Service Yahoo! JAPANと
gooが5月より
検索サービスで提携

ヤフーとNTTアドは、インターネット上の検索サービスにおいて協力関係を提携する。これは、ヤフーが運営する「Yahoo! JAPAN」と、NTTアドの「goo」との間において、「Yahoo! JAPAN」での検索結果がゼロの場合に自動的に「goo」に検索を引き継ぎ、その検索結果を「Yahoo! JAPAN」内に設ける「Yahoo! JAPAN/goo」の共同ページに表示する。5月上旬にサービス開始予定。

URL <http://www.yahoo.co.jp/>
URL <http://www.goo.ne.jp/>

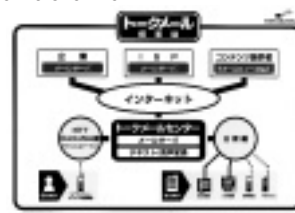


キーワード検索の利便性が大幅に上昇する

Service インフォ・アベニューが
電子メールの
電話読み上げサービス開始

インフォ・アベニューは3月2日より、「トークメール」を開始した。電子メールを合成音声で電話から確認できるほか、電話での返信メールの作成や、FAXでの取り出しもできる。トークメールセンターで預かったメールには、NTTドコモの「モバイルQサービス」からのアクセスもできる。入会金や基本料はなく、10円/30秒の従量制料金のみ(個人向けサービス)。

問い合わせ トークメールお客様センター
TEL 0120-570-270



トークメールセンターで電子メールを預かる仕組み

Service IVPがプロのアーティストが
情報交換などを行う場を
提供

IVP(Internet Virtual Production)は、各方面で活躍するアーティストたちに情報交換や制作活動を共有する「場」を提供する。IVPでは、製作者に対して作品をホームページ上で公開したり、エージェント業務を行ったりして、その業務をサポートしていく。制作したコンテンツを販売するショッピングモールや、サイバーキャッシュによる決済システムも提供する。

URL <http://www.ja-am.or.jp/>



IVPのホームページ

SOHO KDDが
インターネット上に
SOHOサクセス塾を開設

KDDは2月27日から4月20日まで、ホームページ上で「KDD SOHOサクセス塾」を解説する。塾長にはジャーナリストの木村太郎氏を起用し、外国人ジャーナリストとの国際テレビ会議を使った討論会や、米国でのSOHO成功事例の紹介などを行う。また、今回のイベント参加者からの反響をもとに、日本でのSOHO成功事例を紹介するワークショップの展開も行っていく。

URL <http://www.kdd.co.jp/soho/>



「SOHOサクセス塾」のホームページ

SOHO ㈱SOHOが
ホテルをリニューアルして
賃貸オフィスをオープン

SOHO事業者向けにインフラ提供事業を行う㈱SOHOは4月1日に、75室の賃貸スモールオフィスを備えた「SOHO YOKOHAMA インキュベーションセンター」を横浜市山下町にオープンする。これは、山下公園に隣接した旧シルクホテルをリニューアルしたもの。センター内に設置した専用サーバーから全室にLAN環境を用意する。賃料は38,000円/月からで、現在は第2期の募集中。

問い合わせ ㈱SOHO設立準備室
TEL 03-3366-5815



SOHO YOKOHAMA インキュベーションセンター

Event イベントカレンダー (1998年4月~7月)

※カレンダーの日程はあくまでも予定です。お出
かけの際は、問い合わせ先へ確かめください。

国内

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
4月6日	4月9日	COMDEX/Japan '98 URL http://www.comdex.com/comdex/owa/event_home?tv_event_id=232	コンピュータの総合展示会とコンファレンス。	日本コンベンションセンター (幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主・開 ソフトバンクフォーラム株 Tel. 03-5642-8312 Fax. 03-5641-4617
4月22日	4月24日	'98ボード・コンピュータ展 URL http://imagate.jma.or.jp/CONVENTION/	バスボード、OS、開発支援ツール、バックアップ レーン/周辺機器などに関する展示会。	日本コンベンションセンター (幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主・開 日本能率協会産業振興本部 Tel. 03-3434-0998
5月12日	5月14日	HP WORLD '98 URL http://www2.nikkeibp.co.jp/event/hp/hp98/	ヒューレット・パッカード社や関連するビジネス パートナーが最新ソリューションや新製品を 紹介する。	東京ビッグサイト 東京都江東区有明3-21-1	主 日経BP社 日経BP社 HP ワールド事務局 Tel. 03-03-5210-8408 Fax. 03-5210-8285
5月19日	5月22日	ビジネスショウ'98 TOKYO URL http://www1.meshnet.or.jp/kns_sil/event/	日本最大の事務・情報・通信についての展示 会。	東京ビッグサイト 東京都江東区有明3-21-1	主 (社)日本経営協会、東京商工会議所 開 日本経営協会ビジネスショウ事務局 Tel. 03-3403-8910
6月3日	6月5日	NETWORLD + INTEROP 98 TOKYO URL http://www.sbfforums.co.jp/interop.htm	最先端のネットワーク技術&情報に関するアプ リケーションとインフラの展示会。	日本コンベンションセンター (幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主・開 ソフトバンクフォーラム Tel. 03-5642-8312 Fax. 03-5641-4617
6月10日	6月12日	ケーブルテレビ'98 URL http://www.catv.or.jp/	「楽しさ満開、便利にあれこれ、ケーブルテレ ビ」をテーマに、ケーブルテレビを利用した新 しいサービスや技術の展示会やシンポジウム。	池袋サンシャインシティ 東京都豊島区東池袋3-1	主 (社)日本ケーブルテレビ連盟、(社)日本CATV 技術協会、ケーブルテレビ番組供給者協議会 開 日本CATV技術協会 Tel. 03-5273-4671
6月10日	6月12日	ビジネスショウ'98 OSAKA URL http://www.noma-businessshow.or.jp/index98.html	東京でも開催される展示会で、「情報通信」、 「事務処理」、「情報処理」の3つの分野の活動 を支援する。	インテックス大阪 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102	主 (社)日本経営協会、大阪商工会議所 開 日本経営協会関西本部ビジネスショウ グループ Tel. 06-443-6093
6月10日	6月12日	NETWORK KANSAI 98	インターネットやLAN、WANなどのネットワ ークについてのソフト、ハード、サービスに関 する展示会。「COMPUTER GRAPHICS OSAKA 98」と併催。	マイドームおおさか 大阪府大阪市中央区本町橋2-5	主・開 日本能率協会関西地域本部 Tel. 06-261-7151
7月1日	7月4日	Windows World Expo/Tokyo '98 URL http://www.idgexpo.com/	ウィンドウズ対応ハードウェア&ソフトウェア の展示会とコンファレンス。「Computer Telephony World Expo/Tokyo '98」と併催。	日本コンベンションセンター (幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 IDG ワールドエキスポジャパン 開 Windows World Expo/Tokyo '98統括事 務局 Tel. 03-5276-3751
7月8日	7月10日	EXPO COMM WIRELESS JAPAN '98 URL http://www.ejkruse.com/expocomm/asia/japanwireless98.htm	モバイルコンピューティングや携帯電話など に関する展示会とセミナー。	日本コンベンションセンター (幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主・開 SOFTBANK COMDEX Inc., Tel. +1-617-433-1500
7月24日	7月26日	ぼそまる'98 URL http://www.nikkei.co.jp/events/pasomaru/	ホームコンピューティングに関する展示会。パ ソコンやインターネットが普及するなか、家族 で楽しむ新しいライフスタイルを展示する。ス クールや相談コーナーなども用意。	東京ビッグサイト 東京都江東区有明3-21-1	主 日本経済新聞社 開 日本経済新聞社事業局総合事業部 Tel. 03-5255-2847 Fax. 03-5255-2860

海外

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
4月20日	4月23日	COMDEX/Spring '98 / WINDOWS World '98 URL http://www.comdex.com/	コンピュータ関連の総合展示会とコンファレ ンス。	McCormick Place Chicago, Illinois, USA	開 SOFTBANK COMDEX, Inc. Tel. +1-617-433-1500
4月23日	4月24日	Web Marketing '98/Seattle URL http://www.thunderlizard.com/ttp/webmarketing.html	インターネットを利用したオンラインビジネス や取り引きに関するセミナー。	Thr Westin Hotel Seattle, USA	開 Thunder Lizard Productions Tel +1-206-285-0305 Fax +1-206-285-0308
5月3日	5月6日	Cable '98 URL http://www.ncta.com/	ケーブル・テレビ技術、サービスに関する総合 展示会。	George World Congress Center Atlanta, Georgia, USA	開 National Cable Television Association Tel. +1-202-775-3606 Fax. +1-202-775-3692
5月4日	5月8日	NETWORLD+INTEROP 98 Las Vegas URL http://www.interop.com/events/ni_vegas98/index.html	最先端のネットワーク技術&情報に関するアプ リケーションとインフラの展示会。	Las Vegas Convention Center Las Vegas, Nevada, USA	開 SOFTBANK Forums Tel. +1-415-525-0194
5月23日	5月26日	EXPO COMM WIRELESS KOREA 98 URL http://www.comdex.com/comdex/owa/event_home/	モバイルコンピューティングや携帯電話など に関する展示会とセミナー。	Korea Exhibition Center Seoul, Korea	開 SOFTBANK COMDEX Tel +1-781-433-1823
5月28日	5月30日	E3(Electronic Entertainment Expo) URL http://www.idg.com/expos/main.html	世界最大のコンピュータ&ゲーム機などのエン ターテインメントに関する展示会。	George World Congress Center Atlanta, Georgia, USA	開 MHA Event Management Tel. +1-781-551-9800
7月13日	7月17日	Summer Internet World 98 URL http://events.internet.com/summer98/index.html	インターネットの総合展示会。	McCormick Place Chicago, IL, USA	開 Mecklermedia Corporation Tel. +1-203-226-6967 Fax. +1-203-226-6976



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp